

2013年 司書部 冬の研究集会

日 時：2013年12月4日（水）

場 所：大阪府立山本高等学校

参加者：22名（府立18 私学4）

内 容：1. 「図書館ビフォーアフター：普通科高もバリアフリーを考えた」
大阪府立山本高等学校 水元 なゆり 氏
2. 図書館見学

「図書館ビフォーアフター：普通科高もバリアフリーを考えた」

大阪府立山本高等学校 水元 なゆり 氏

1. はじめに

① 学校紹介

創立85年を迎える古い学校です。専門学科やコースを待たない普通科の学校、生徒は基本的に女子が少し多く入学してきます。今年度は、各学年7クラス（合計21クラス）です。

② 図書館紹介

現在、図書館は文化部という分掌に所属し、私を含めて6名で運営しています。蔵書数は約28000冊です。

図書館は3年生のHR教室のある本館と呼ばれる5階建ての校舎の4階にあります。1、2年生のHR教室のある南館からは渡り廊下を渡り、はるばる出かけてくるという状況で、この4階の図書館まで来てもらうことがなかなか大変です。というか、大変でした。今年は新カリの関係で1、2年両方に情報の授業があります。図書館の隣の教室がLAN教室なので週に2回は必ず、図書館の前を通ります。おかげで距離がすこし縮まっています。

貸出冊数は私が山本高校にきた2007年から比べると約3倍、2011年度は10272冊でした。昨年度は入試が2回になり、結局2月下旬に長い休みと3月も長い時間閉館することになり、少し減ったかなと思っています。

2. 教科との連携

① 英語科

山本高校の貸出冊数が急激に伸びた時期（2007年～2008年）があります。この頃に取り組んでいたのは、英語科から持ちかけられた英語の多読図書「Graded Readers」でした。

2006年に他校の英語の多読図書を使った授業を見学された先生は「本校でも多読に取り組みたい」という申し入れを校長に行ったそうです。しかし、その時はお金がないと断られたと聞いています。ところが翌年、創立80年のお祝いに卒業生から学校に500万円の寄付があり、その中の150万円を英語科から希望の出ていた英語の多読教材に使いましょうということになりました。約1500冊の本と書架、それに装備用品一式を購入しました。導入前に英語科から相談があり、図書館にそれら多読図書を置いて、生徒に自由に利用してもらうことが決まりました。

本校の多読図書のタイトル数はなかなかのもので、すべてにこだわった英語科教諭の「同じ本は2冊までしか購入しない」という方針でタイトルを多く揃えました。いろんな本から選ぶ楽しさを知ってほしいので、絵本やペーパーバックにいたるまで購入しました。バーコードやラベルなどの装備については試行錯誤しました（図書館に丸投げされてしまったところも…）。



購入した本すべてを7段階のレベル分けを行い、レベルごとにブックコードと呼ぶ通し番号を振り、簡単にレベルがわかるように丸い色ラベル（丸い色つきシール）を貼りました。英語科は授業ではこの多読には一切触れません。最初に説明するだけです。自主学習として位置づけています。提出用の「Book Report 用紙」も図書館でのみ手に入れることができます。積極的な生徒の少ない学校でしたが、課題の中に「指定されたレベルよりも高い本を読む、指示された冊数よりも多く読む」ということにチャレンジする子供が増えていきました。

忙しくなることは確実でしたが、それまでの図書館は一部の生徒だけに利用されていて、他の生徒は利用をためらっているような雰囲気がありました。それを打ち破りたかったのでお受けしました。結果、生徒の来館が増え、貸出冊数が伸び始めました。多読の本だけを借りて来た生徒にいろんな展示方法で（貸出手続きに並んでいる生徒の横に読みたそうな本を並べてみる…待ち時間な暇なので手に取って本を見ます。）蔵書で魅力ある図書館づくりに力を注ぎました。多読のほうの取り組みも誘い文句が効いたのか、よい効果がいろいろ現れました。これで運よく平成22年4月に文部科学省の「子どもの読書活動優秀実践校」として表彰されました。

② 国語科

しばらくすると国語科から「読書マラソン」のことで相談がありました。これも生徒に本を読む楽しさを知ってもらいたいという教科の願いをうけて図書館も協力することになりました。「読書マラソン提出カード」も図書館においてあります。何を読んでいいのかわからない、今まで携帯小説やラノベ筋の生徒向けに「読書初心者コーナー」を準備し、読書マラソンを図書館として積極的に勝手に応援しました。

③ これ以外にも

とにかく図書館が動き始めるといろんな要望が出てきます。保健体育科から新聞の切り抜きの課題を出したけれど家庭で新聞を取っていないことで困っている、という声を聞いたので図書館で切り抜いてもよい新聞のコーナーも作りました。

3. 誰にも優しい図書館をめざして

① 申請に至るまでの経緯

利用が増えてくると見えてくるものがあります。今までは人の来ない本の置き場だった場所です。生徒が集まり、本が動き始めるといろいろ困ることも出てきました。

創立の古い学校だというせいもあるかもしれませんが、個人全集がたくさんあります。また今まで購入された本にはブックカードやブックポケットがなく、ラベルキーパーのないボールペンで記入した分類番号が貼ってあるだけの本が書架に並んでいました。書架の間も狭

く、整理のためのトラックを入れると身動きが取れないところがたくさんありました。思い切って古い本を整理し、バーコードを張る作業しながら分類番号を張り替え、ブッカーをかける作業を開始しました。しかし、どうしても変わらないのはレイアウトもさることながら、図書館の暗い雰囲気でした。なんとかしたいと思いながら困り果てていたのです。

そこで大阪府が「がんばった学校支援事業」という事業を平成23年度から行っていることに着目しました。平成23年度は応募も少なく、申請が通った学校は予算もたくさんついてよかったと聞いたので24年度の大阪府「がんばった学校支援事業」を利用し、図書館のリニューアルに取り組むことにしました。

予算が削減され、お金がないので思い切った図書館の改装というのはなかなかできません。また基本的に大阪府は既存のものを壊すことは普段認められません。でもどうしても今回こだわりたいのは「バリアフリー」でした。ただ私がバリアフリーと言っているものは「ユニバーサルデザイン」であるかもしれません。このあたりの定義というか、きちんとしたことを私自身があまり理解しているとはいえません。誰にでも優しい施設、設備をめざしたとお考えください。

現在3年生に電動車イスを使用している生徒がいるのですが、彼が図書館を使うとなると館内がバリアだらけで驚いてしまいます。図書館の入り口が狭すぎて車いすが引っ掛かる、書架の間隔が狭すぎて入れない、などずいぶん苦勞を掛けました。というわけで難しい書類にチャレンジし作文に力を注ぎました。

② 支援が決定してからの工夫

この「がんばった支援事業」に最初に申請した希望金額は669万8900円でした。書架を買い換えるためには一本30万として10本欲しいので単純計算で300万円、というように考えてこの金額になりました。カウンターも最初は買い換え希望なので、95万8000円という金額を希望していました。

しかし結果は250万円です。これですべてをまかなうのは無理です。でも業者の見積もりも添えて書類の提出は来週末というとんでもないスケジュールの中、悩んだのはカウンターの形と書架と書架の間隔、それに採光でした。背の高い本棚に囲まれた奥のスペースは女子生徒に評判が悪く「暗い、怖い、汚い」の3Kだといわれていました。そこで①入口扉の改修②書架の買い替え③カウンターの改修、この3点をメインにプランを考えることにしました。



③ リニューアルする際の重点目標

まず1番の玄関扉。これは全面改修を希望していましたが、見積もりによると100万を超えました。観音扉はあきらめ（これはかえてよかった。4階では廊下を強風時に風が舞うので、あけておけば思いっきり閉まったりする。とても危険でした。）、吊り下げ式の引き戸にしました。身障者トイレを思い浮かべていただくとうまくわかんと思います。これなら風の影響を受けずに開閉ができ、また既存の扉の枠を壊さずにすむので工事自体が簡単、ルールもそのままということでした。元に戻さなければならぬ時には工事も簡単です。なにより工事費は29万4千円ですみました。

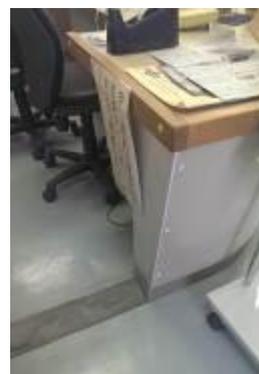
扉が開くスペースは 110 cm（扉の幅は 120 cm）。衝突の危険を回避するため、扉は透明にしたかったのですが、ガラスは危険とのアドバイスでポリカーボネートにしました。扉のデザインは木製の優しいイメージを希望しました。曲線を取り入れたかったのですが、価格を考慮して四角のままにしました。

現在、扉の横に看板があります。当初、入口の上に取り付けたくて材木を購入しましたが、「設置困難、落ちてきたら危険」と言われて据置型に変えました。本校の美術の先生に掘っていただきました。

次に 2 番目の書架の買い替えです。床置き中書架も全部購入すれば 300 万円です。しかし、元からある背の高い書架の上部を切り取ることにすると一台 2 万 5200 円で 10 台分でも 30 万円でおつりがきます。もちろん古い書架なので、古い塗装をはがしてラッカーを塗りました。大阪府の高校生の女子の平均身長は 158 cm、男子は 170 cm です。そこから考えて脚立なしに手が届くように書架の高さは 150 cm としました。

しかし、これには一つ失敗がありました。文庫新書棚の存在を忘れていたのです。並べてみると驚くほど高さが邪魔になります。お金は全部使ったし、いまさらどうしようもないと嘆いていると、またまた美術に先生が「この書架は張りぼてだから簡単に切れるよ」との事。是非にとお願いして 2 時間程度で両面 2 連 3 本を中書架に変身させてくださいました。

3 番目のカウンターも 95 万 8000 円する「バナナ型カウンター」が欲しかったのですが、調べてみると既存のカウンターは床にアンカーボルトで取り付けられていて、カウンターをはずすと床の補修工事まで必要になってきます。もういくらいるのかわかりません。しかし、今のカウンターのままではとっさの時に入り口扉に駆け寄れなくてなにかと不自由でした。導線を確保したかったので、L 字カウンターの壁にくっついている部分を切り取るだけにしました。すると 9 万 9750 円でなんと 10 万円以内におさまります。もともとカウンターは背の低いタイプなので圧迫感はなく高さについてはよかったのですが、形に不満は残りますが妥協することにしました。足を入れる部分に 3 段の引き出しがあってとても邪魔だったので、枠を残して引き出しは撤去してもらいました。



そうして工夫をして浮かせたお金で、ブラウジングコーナーとして畳台を 6 台購入しました。ソファは座る人数が決められてしましますが、畳台だとその制約がないので購入を決めました。畳台の上で騒いだり寝転がったりしたときはこの畳台をベンチとして使うつもりでした。今のところ、窓にもたれて楽しそうに話をしている生徒の姿を見ることができているので、大変うれしいです。

もうひとつご紹介したいのが無線ルーター、子機です。少し高価ですが、大阪府の学校情報ネットワークの基準に見合うステルス化のできるものを購入しました。これにより館内のパソコン環境が格段に便利になりました。一人用のスツールも置いて、居場所も確保しました。



4. おわりに

① 現在の生徒の感想、様子

生徒の評判はよく使いやすくなった、勉強がしやすくなった、本を借りる気がしてきたなどおおむね好評です。



② これからの山本高校図書館の目指すもの

このリニューアルを機にまず読書センターは当然ですが、学習センターとしての機能を充実させることにも力を注ぎたいと考えました。書籍に関しては予算があればいくらでも購入することができるのですが限りがあります。先生方の授業を支え、調べ学習に十分対応するためには近隣の府立高校はもとより、現在大阪府立中央図書館の資料をインターネットネットで予約し、学校所在地の市立図書館経由で貸出をしてもらえる試行サービスに申込み活用しています。今後もよりいっそう先生方の授業を支援するよう、授業に関連した展示や企画を行いたいと思っています。

またインターネットについては生徒が自由に使えるデスクトップが5台あります。ノート型は20台です。これらはすべて生徒個人のIDとパスワードで管理されていて大阪府教育センターのサーバーを経由しネットに接続しています。今回の予算で購入した無線のルーターと無線子機を使えば20台のノート型パソコンも簡単にログインできます（認証させるには必ずネット環境につながないとはいけません）。これまではHUBからLANケーブルがそろそろぶら下がり、非常に使い勝手が悪かったのですが、今回購入したルーターを使い事前に充電すれば、AC電源、LANケーブルなしのすっきりとしたノート型パソコンを利用できます。

そして子供たちの居場所の提供です。本校の書架の陰には一人用のスツールが置いてあります。昼休みはひっそりと過ごしたい人の居場所となって大変利用の高いコーナーの一つです。司書がいるので目配りできる、保健室とも連携を図れる、と校内でも徐々に重要な役目のある場所だという認識されてきています。体育祭、文化祭、にぎやかな場所が苦手な生徒が安心して過ごせる場所としても有効な場所だと思っています。

家庭における読書活動の支援ということで保護者からの利用希望がたくさんあるので、生徒を通じての本の貸出を積極的に行っています。入学式後の保護者オリエンテーションでも「図書館をぜひご利用ください」と説明した用紙が綴じ込まれています。本校の生徒の利用に関しては貸出冊数に規制を設けておりませんので保護者の分が入っても大丈夫です。希望が多いので図書館からのお知らせの裏は購入図書の一覧をつけています。配布した翌日に生徒が保護者が丸を付けたお知らせを持って図書館に来ることも増えてきました。今年はお知らせを配った後、保護者メールに図書館から新刊案内出しましたと連絡してもらおうかと考えています。

いろいろお話ししてきましたが、とにかくちょっとした工夫で図書館は元気になる、そしてみんながあつまるところになる、それが図書館の力となり読書センター、学習・情報センターとして学校にはなくてはならない施設になると思います。目に見える環境は徐々に整えています。そしていつも利用者の様子を見ながら、蔵書構成や新しいことを考えて山本高校らしい図書館にステップアップしていきたいと思っています。

<質疑応答>

- 無線ルーターと無線子機の値段を知りたい。
コンセント、ルーター、子機20台で、約9万円。種類は大阪府立学校情報ネットワークで指定されたもの。
- 英語の多読課題は平常点にプラスされるとのことだったが、国語科の読書マラソンはどんなふうになっているのか。
読書マラソンは、沖縄から北海道へマラソンしていく形式。それぞれの年度、学年によって方法は違うが、これまでの学年が学期ごとに加点していた。今年度は3学期末にまとめて加点していくようで、ちょっと盛り上がりには欠けているかもしれない。
- 読書マラソンはいつから導入されたのか？
国語の読書マラソンは2009年度から。
- 図書館の中で、特に電動車いすについて注意しているところは？
書架と書架の間は120cm。机は寄せて間を取るようになっている。机は移動しやすいように軽いものにした。冬の時期には暖房がガスファンヒーターなので、そのガス管を踏んだり、引っかかったりしないように気を付けている。

<図書館見学の様子>



<まとめとして>

「昼休みなのに、授業で利用している時のように生徒がたくさんいて、びっくりした」と山本高校の学校長よりのあいさつにありましたが、図書館を見学させてもらった時も生徒さんたちは読書に学習にと、思い思いに利用されていました（おじゃまだったと思います…生徒のみなさん、ごめんなさいね）。生徒のことを考えて行ったさまざまな取り組みが素晴らしい効果を発揮しているとわかります。

ただ、これらのことを維持し発展させるには設備だけでなく、人の力というものが必要でしょう。大阪府立高校では退職者不補充のため、どんどん専任が減りました。兼務や学校司書のいない学校も増えてきています。不在ということは司書教諭や一部の先生方の努力で図書館を開館しているということです。図書館という施設があるにもかかわらず閉館している学校があります。水元さんも今年度から生物実験の仕事を兼務されています。人事異動の状況を見て、また学校長の意向もふまえて仕事内容が決まるので、来年度の仕事の内容は確定できないとおっしゃってました。兼務とはいえ図書館に机を置いて仕事をされている水元さんはまだ図書館の仕事ができていたとのことですが、来年の保証はありません。

専任として図書館にいればもっと先を見つめた仕事もできるでしょう。専任で専門職としてできれば正規での人を学校図書館においてほしいと思います。

最後に、今年度の冬の研究集会は地区会などいくつかの会議と日程が重なってしまったため、参加者が少なくなっていました。11月末より12月にかけて、研修会や会議が多くあるのでこの日程でしか設定できなかったのですが、たくさんの方に参加していただけなくて申し訳ありませんでした。

<感想より>

- いろんな学生が利用し、すごく図書室が明るく使いやすいと見えました。車いすを使っている生徒にも入りやすい感じで良かったです。
- とても興味深いお話でした。いろんな視点からていねいに仕事をなさってきたのだろなと感じ、よい刺激になりました。BookReportを本校でもできないかどうか、考えてみようと思います。
- たいへんなパワーをいただきました。ぜひとも、あとに続いていきたいものです。バリアフリーは全然かなっていないので、参考にさせていただきます。
- 山本の水元さんの実践はいつもながら素晴らしいと感じます。教科との連携のポイントを見たような気がします。
- 研修についてもですが、図書館がすばらしい！！子供たちが行きたくなる様なホッとさせる場所にされている事に、私もやっていきたいと思いました。ありがとうございました！！
- たいへん興味深く聞かせていただきました。本棚を切った話。私も雑誌架を電ノコで切っ



たので、どこもいっしょやなと思い、おかしくおもいました。そんなことをせずに、できれば、どんなにいいでしょうか。一人用スツール、やってみようと思います。英語の多読については、英語科の先生に話してみようと思います。ドアはこの後、実物を見るのが楽しみです。うちも、なんとか入口をガラス戸にしたいので、できれば、やってみたいと思います。

- 具体的にリニューアルにかかった費用も教えてもらえて良かったです。来年度の予算申請等の参考になりました。読書マラソンと BookReport の用紙も図書室で頂けたので、早速、分掌内で回覧したいと思っています。
- バリアフリーなど参考になりました。（本校にも足の不自由な生徒がいます。）書架の高さを低くするなどサプライズですが、見はらしがよくて、開放感がありますね。色々と参考になりました。ありがとうございました。
- 書架の上を切るという発想におどろきました。明るい図書館で感じが良く使い易そうです。書架にスツールをつけて置いてあるのもいいなと思いました。座ってみると本にうもれて、自分の世界に入っていけるようで、本校図書館でも真似しようと思います。本日はどうもありがとうございました。
- できれば「パワーポイントスライド、その他の資料をいただけたら」と思いました。勤務校では図書館の書籍の廃棄がなかなか進んでおらず、古い本と新しい本が混在している現状です。こちらの図書館を見せていただき、「本の廃棄」を実感しました。
- とても素晴らしいリニューアル&生徒が喜ぶ図書館づくりの実践でした。「支援事業」までは、なかなか手を出す勇気はありませんが、教科とのタイアップは帰って話を持ちかけてみようかと思っています。見学させて頂いて「入りたくなる」「居座りたくなる」図書館だなと実感しました。とても素敵でした！と同時に、新着本の紹介や展示の仕方 etc ちょっとした所に工夫がこらされておるのが実は見えない努力かと・・・。
- 実践的な内容はいつも有り難いです。色々な学校の図書館を見られるので為になります。遠いので躊躇しましたが、来て良かったです。お話も題名に限らず、違って充実内容でした。